

津久見市議会だより

第 86 号

令和6年9月 定例会
令和6年11月1日 発行

編集発行
大分県津久見市議会 ☎0972-82-9518

題字は津久見高校書道部です



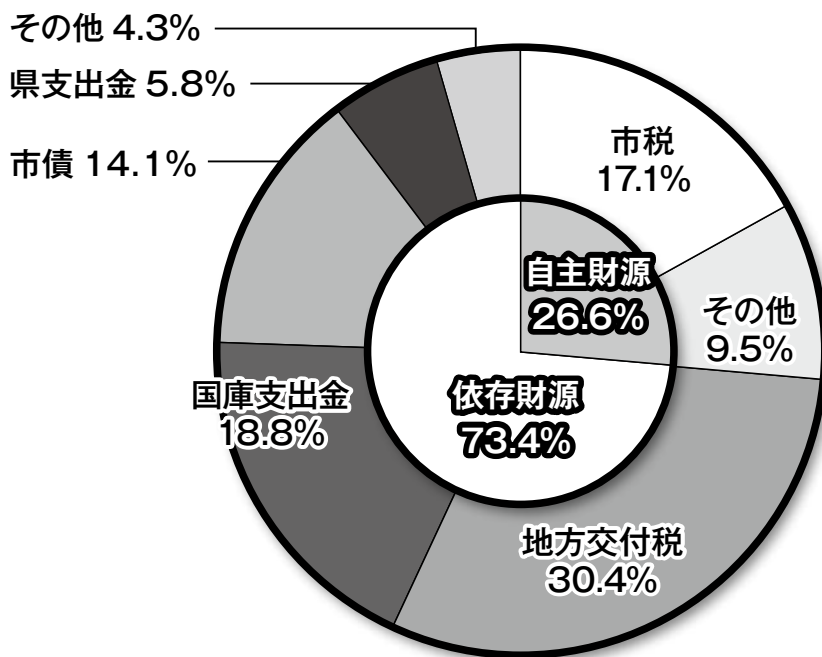
- ◎ 令和5年度の決算 P 2
- ◎ 市政を問う（一般質問） P 7
- ◎ つくみの宝 P16

津久見高校「つくみ蔵」開店！ in つくみん公園

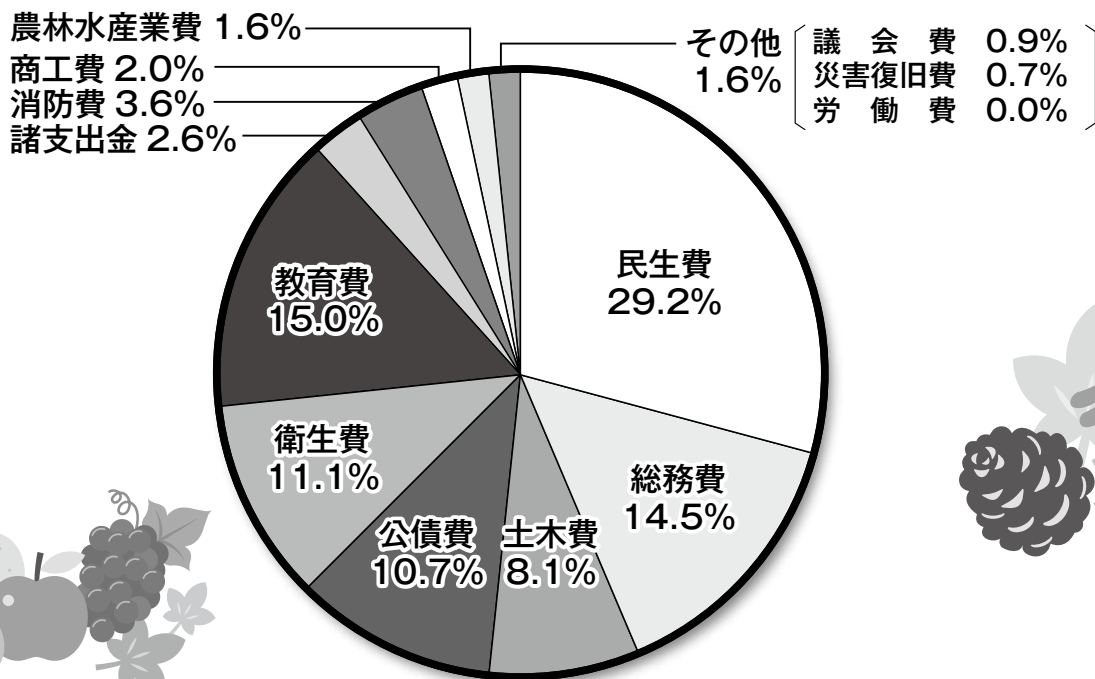
特集 127億円の使われ方!!

令和5年度決算は、歳入決算額127億7,369万8千円、歳出決算額123億6,965万1千円、歳入から歳出を差し引いた形式収支は4億404万7千円で、3,517万2千円を繰越事業の財源としているので、実質収支は3億6,887万5千円の黒字決算となっています。

一般会計 歳入 127億7,369万8千円

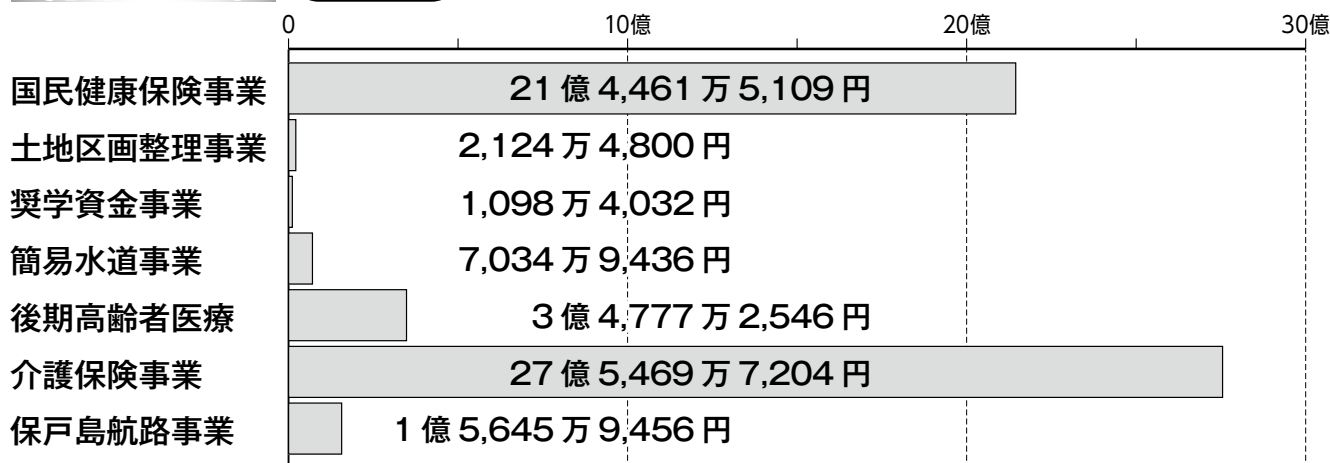


歳出 123億6,965万1千円

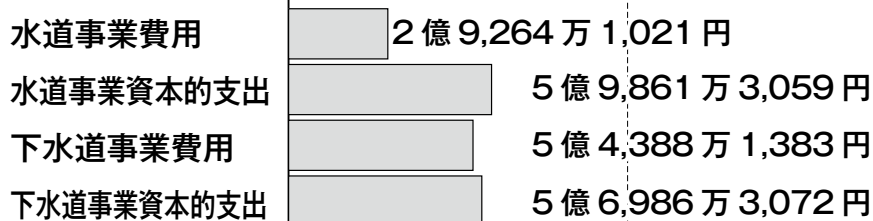


令和5(2023)年度決算

特別会計 歳出額



水道会計



ふるさと納税の使いみち

1億2,000万円・42事業で活用

活用額200万円以上の事業

○ 母子保健健康診査事業	200万円	(事業費総額 640万4千円)
○ つくみ港まつり負担金	400万円	(事業費総額 500万円)
○ 周遊活性化対策事業補助金	200万円	(事業費総額 596万5千円)
○ 観光交流館運営費	300万円	(事業費総額 500万円)
○ 新築祝い品	300万円	(事業費総額 471万3千円)
○ 移住応援給付事業補助金	200万円	(事業費総額 450万円)
○ プロジェクター導入事業(新設中学校)	320万円	(事業費総額 428万5千円)
○ 新設中学校備品購入事業	1,620万円	(事業費総額 1,799万6千円)
○ 津久見高校支援補助金	370万円	(事業費総額 378万4千円)
○ 放課後児童クラブ委託事業	250万円	(事業費総額 2,132万円)
○ ふるさと納税支援業務	5,500万円	(事業費総額 8,055万4千円)
○ 企業立地促進事業	500万円	(事業費総額 1,130万7千円)
○ 地域生活支援事業	200万円	(事業費総額 3,030万円)

主要施策における重点事業

出産・子育て応援交付金 425 万円

国が創設した「出産・子育て応援交付金」を活用し、妊娠期から出産・子育てまでの切れ目のない既存の取り組みを活かしながら、寄り添い支援（伴走型支援）の充実を図るとともに、経済的支援として出産応援金・子育て応援金（妊娠時 5 万円、出産時 5 万円）を支給した。

重層的支援体制整備事業 4,806 万 3 千円

住民が抱える課題が複雑化・複合化する中で、高齢者、障がい者、子ども・子育て世帯、生活困窮者等のニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、「相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」を一体的に実施した。

消防指令業務共同運用整備事業 6,707 万 7 千円

令和 6 年度から県内 14 消防本部で共同運用する消防指令業務に関わる、個別整備業務委託及び当市の負担金。
（津久見市は令和 6 年 8 月 6 日から運用開始）

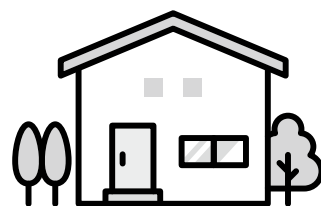


路線バス運行補助金 1,200 万円

現在、四浦線、堅浦線、川内線、中西循環線、臼津線の 5 路線あり、どの路線においても市民の重要な交通手段となっているが、利用者の減少傾向が顕著であるため、補助金を交付し路線バスの運行維持を図った。

定住促進対策事業 1,454 万 8 千円

転入される方への移住応援給付金、新婚・子育て世帯の負担軽減のための家賃補助や、市内業者を使った新築費用に対して、助成相当額の商品券の交付を行い、若い世代の定住促進を図った。また、空き家情報バンク登録物件に対して家財処分補助を行い、登録物件を増やし、移住定住情報をポータルサイトにより全国発信し、移住者に引越費用や住宅改修費等に対し補助金を交付することで、市外からの移住を促進した。



9月定例会

会期：9/9～10/18
(40日間)

総務常任委員会

9月19日、本委員会に付託されました議案2件及び意見1件について審査を行いました。

●議案第80号 津久見市税条例の一部改正について

説 本件は「公益信託に関する法律」の改正に伴う市民税規定の整備等、所要の改正を行うもので、全会一致で可決しました。

●議案第83号 財産の取得について（災害対応特殊救急自動車の購入）

説 本件は、緊急消防援助隊設備整備費補助金を活用して救急自動車を更新するもので、全会一致で可決しました。



新たに購入する救急車のイメージ

●意見第3号 地方財政の充実・強化に関する意見書（案）

説 増大する行政需要を鑑み、今後より積極的な財源確保が求められ、2025年度府県予算また地方財政の検討については、現行の地方一般財源水準の確保から一歩踏みだした地方財政を実現するよう求めるもので、全会一致で可決しました。

社会文教建設常任委員会

9月19日、本委員会に付託されました議案2件及び意見1件について審査を行いました。

●議案第79号 津久見市国民健康保険条例の一部改正について

説 本件は、「行政手続における特定の個人

を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律」の施行に伴い、所要の改正を行うもので、委員より「マイナンバーカードと国民健康保険証を一体化しない場合の資格確認書は使いにくくなるので反対します」との討論があり、挙手による採決の結果、賛成多数で可決されました。

●議案第84号 大分県後期高齢者医療広域連合規約の変更について

説 本件は、大分県後期高齢者医療広域連合規約の別表第1中「被保険者証及び資格証明書」を「資格確認書等」に変更するもので、委員より「本議案も、議案第79条と同様の理由で反対します」との討論があり、挙手による採決の結果、賛成多数で可決されました。

●意見第2号 小・中学校の体育館への空調設備の整備を求める意見書（案）

説 子どもたちが安全で安心して学校生活がおくれるよう、また災害時には避難所ともなる重要な施設であることから、全ての学校の体育館において、国の責任で空調設備の整備がすすむよう支援強化を要望するもので、全会一致で可決しました。

予算常任委員会

9月20日、本委員会に付託されました議案2件について審査を行いました。

●議案第81号 令和6年度一般会計予算の補正について

説 歳入歳出それぞれ7,275万1千円追加し、歳入歳出それぞれ123億1,141万2千



市内小学校での給食風景

円とするもので、支出の主な内容としては、定額減税調整給付金事業や退職手当、物価高騰に伴う学校給食費支援事業補助金等に充てるための補正で、全会一致で可決しました。

●議案第 82 号 令和 6 年度津久見市下水道事業会計予算の補正について

説 収益的収支、資本的収支を合計した予定額を 128 万 3 千円増額するもので、収益的支出の主な内容としては、処理場の修繕費や材料費に、また資本的支出では備品購入費に充てるための補正で、全会一致で可決しました。

そ の 他 の 議 案

●報告第 5 号 地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく健全化判断比率の算定について

説 令和 5 年度決算に基づく健全化判断比率について、監査委員の意見を付けて報告するもので、関連するいずれの指標も、法令に基づく早期健全化基準の範囲内となっているとの報告がありました。

●報告第 6 号 地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく資金不足比率の算定について

説 令和 5 年度決算に基づく「簡易水道布設事業特別会計」「保戸島航路事業特別会計」「津久見市水道事業会計」「津久見市下水道事業会計」の資金不足比率について、監査委員の意見を付けて報告するもので、各会計ともに資金の不足額が発生していないため算定されていないとの報告がありました。

●議案第 85 号 人権擁護委員候補者の推薦について

説 岩崎幸弥氏（再任）を推薦するため、議会の意見を求めるもので、全会一致で適任である旨決定しました。

●議案第 86 号 令和 6 年度一般会計予算の補正について

説 歳入歳出それぞれに 2,148 万円を追加し、総額を 123 億 3,289 万 2 千円とするもので、内容としては、10 月 27 日に執行される、第 50 回衆議院議員総選挙及び第 26 回最高裁判所裁判官国民審査の執行経費を予算計上するもので、全会一致で可決しました。

議 案 の 賛 否 表

賛否の分かれた議案のみ掲載しています。

○：賛成 ●：反対 棄：棄権 欠：欠席

議 案 名	植田 志ほ	野田 和廣	内田 隆生	島田 勝	倉原 英樹	丸木 一哉	菊池 正一	井戸川 幸弘	黒木 章三	宮本 和壽	高野 幹也	知念 豊秀
9月定例会												
議案第79号 津久見市国民健康保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	議 長	○	○	●
議案第84号 大分県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	●
認定第 2 号 令和5年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	●
認定第 6 号 令和5年度津久見市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	●
認定第 7 号 令和5年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	●

市政を問う 一般質問

9月17日(火)・18日(水)

10議員が登壇 傍聴者延べ28名

顔写真横の
二次元コードから
各議員の一般質問
の動画をご覧いた
だけます。



津久見市議会録画映像インターネット配信 ▶ <http://www.kensakusystem.jp/tsukumi-vod/index.html>

子どもは宝!! 不登校の現状は!!

しまだ まさる
島田 勝



不登校児童生徒について

問 人数の推移について

答 市内小中学校の過去5年間の不登校児童生徒数は、令和元年度小学校3名、中学校2名の合計5名、令和2年度は小学校5名、中学校5名の合計10名、令和3年度は小学校7名、中学校9名の合計16名、令和4年度は小学校7名、中学校15名の合計22名、令和5年度は小学校7名、中学校15名の合計22名です。

今年度も昨年度と、ほぼ同じ人数で推移しており、不登校児童生徒数は減少していません。全国的、全県的に見ても増加傾向にあり、教育現場において、大きな問題となっています。

問 要因について

答 学校、家庭、本人による要因と様々ですが、生活リズムの乱れ、特にゲームに依存し、昼夜が逆転

してしまい不登校になる事が増加しています。

問 対応について

答 チーム学校として、不登校の未然防止、初期対応、学校復帰支援、自立支援の取組を推進しています。その他、社会福祉課子育て支援班とも月1回会議を開き、情報共有し各機関と協力しながら不登校に対応しています。

林道深良津線の整備で防災対策強化を!!

問 現状と今後の改修予定について

答 林道深良津線は延長1,530メートルで、終点側に接続道路がない未舗装の路線となっています。現状は林道深良津線を活用する林業関係者がいないため、適切な維持管理が出来ていない状態です。今後の改修は財源確保等、様々な課題があることから、まず、その必要性について十分な検討を行い、関係機関とも相談しながら対応を考えます。

課題を認識して即対応を

うちだ たかお
内田 隆生



問 財政状況について

答 近年の物価高騰、賃金上昇等を考慮すると、経常的な行政サービスにおける行政コストは、年々上昇傾向にあり、今後も上昇が考えられることから、有利な財源確保、既存事業の見直しやふるさと納税など新たな財源確保に努めていきます。

問 ふるさと納税について (1)令和6年度の状況と見通しについて (2)令和6年9月1日発令の人事異動について

答 令和6年8月までで前年比 154.9 パーセントとなっています。増加の要因は、中間事業者との調査分析・協議の徹底、掲載サイト 14 個への増加など、地道に行ってきた成果だと考えています。今後は、更なる掲載サイト追加、AIを活用した広報宣伝生成等に取り組みます。9月1日から職員体制が変更となりましたが、現在の体制でできることをやっていきたいと思っています。

問 防災対策～南海トラフ地震に備えた避難収容所の環境整備について

答 冷暖房設備の整備は、有利な財源の模索やスポットエアコン・ガス式の空調設備等の研究に努め、校舎や体育館の長寿命化改修事業等との整合性を図りながら検討したいと考えています。また、井戸の手押し式ポンプ等の整備を検討するほか、折り畳み式の簡易給水タンク 2 基購入の補正予算を今議会に上程したところです。

問 土地改良区農道の市への移管について 現在の大分県等関係機関との協議状況は

答 関係機関との協議は、先日も台風第 10 号の被災状況報告も含め、県に出向き津久見市土地改良区農道について協議を行っております。今後も引き続き関係機関と協議を進めていきたいと考えています。

停滞する市政、発信より 先ず諸課題の解決を！

きくち しょういち
菊池 正一



問 津久見の将来像が見えないが、現政権の取り組みは、前政権の踏襲ですか

答 市の将来像の根幹は「第5次総合計画後期基本計画」であり、市長の交代を契機に方向転換するよりも、現時点ではその流れを踏襲しつつ、今年度中に策定作業を開始する次期総合計画において、私が考える将来像を反映できればと考えています。

問 市長の公的 SNS、私的 SNS について

答 公的な情報発信を行うため、7月より、市長公式 SNS として Facebook のアカウントを開設しました。公式アカウントは、市長の公務に関する広報として発信。画像は、市の職員が撮影したものに限定しますが、市長が「公用スマートフォン」を使用して作成したものや第三者が撮影したものについても、公務に関する広報として適切であると判断したものも掲載します。個人アカウ

ントは「個人のスマートフォン」を使用して、一政治家として発信するもので、公務のほかにプライベートな活動なども掲載します。掲載内容は、公式アカウントと重なるものもあるかもしれませんが、その活用方法や発信の方法については、厳密にすみ分けをしています。

問 副市長の人選は（前議会以降の動向）

答 第2回定例会以降も人選を進めていますが、決まっていません云々。（前回と同内容の答弁）→全く目処が立っていないようです。

◆この他、「野良猫の被害や人に及ぼすリスク。それらの温床となる無秩序な餌やり」に対する市の取り組みについて質しました。また、「現在自己負担となっている带状疱疹ワクチンの接種費用の補助」を促しました。

子ども達のためにできる事を!!

う え だ し ほ
植 田 志 ほ



子ども達の健康を取り巻く環境と学校生活

問 夏場の運動部の部活動時の対策は

答 今年度の夏休みは、グラウンドで行う部活動は、練習開始時間を早めました。遠方から勤務されている先生も多い中、生徒の健康を守る配慮を行いながら部活動の運営を行って頂きました。また、冷凍庫を設置し、体温の上昇を防ぐため、凍ったペットボトルなどを使い、体を冷やしています。大型扇風機を置き涼めるようにもしています。

問 防災面から見た体育館のエアコン設置について

答 防災の観点から小中学校の体育館への冷暖房設備を考えた場合、地域住民の防災拠点となる避難所では、夏冬の時期に災害が発生した時に備えて冷暖房設備を整備しておくことが望ましいと考えています。今後については、有利な財源

を模索するとともに、体育館の長寿命化改修工事等との整合性を図りながら慎重に検討していきたいと考えています。

問 病欠などの欠席時の授業の遅れとその対応について

答 出席停止や登校できない生徒に対して、学習に遅れが生じる事のないように、例えば同時双方向型のウェブシステムを活用した、授業の配信に取り組んできました。児童生徒によって事情が異なりますので、学校と家庭が連絡を取り合って対応します。

◆その他、「スポーツ少年団の熱中症対策、夏の体育の時間、また、夏休み明けの学校での相談体制、給食費の無償化、通学路の危険性などの、子ども達を守るための取り組み」について質問しました。

増え続ける空家を災害時の活用に

ち ね ん とよひで
知 念 豊 秀



問 南海トラフ地震・津波災害では仮設住宅が不足します。増え続ける空家を活用したらどうですか

答 津久見市では、7か所12棟の市営住宅の空室の提供等により対応することになっています。また、空き屋バンクの登録者などに空き屋を提供してもらうことなど新たな取り組みも検討していきたいと考えています。

不要空家の解体について

問 現在家を解体すると産業廃棄物と一般廃棄物に分けられ、それぞれの専門業者に処分されますが、家財道具などの廃棄も産業廃棄物にまぎれて処分を頼むと処理単価がかなり高くなります。一般廃棄物と産業廃棄物の処理方法及び費用分担についてお答えください

答 家庭系一般廃棄物が、100キログラムまで110円、超過すると100キログラムごとに110円を追加、事業系一般廃棄物が、100キログラムまで

1,100円で、超過すると100キログラムごとに220円を追加します。

産業廃棄物は、それぞれ種類や産廃業者によって料金が異なっており、大分県のホームページに紹介されています。

法定後見人制度の活用について

問 法定後見人の任命まで時間がかかりすぎます。速やかに進める方法はありませんか

答 申し立てから、最短で1か月、平均で2か月程度で審判が確定すると聞いています。

問 一人暮らしから、本人の死後に発生するであろう様々な問題を、本人の要望などを事前にノートに書き記しておくエンディングサポート事業を実施してはどうか

答 「人生会議」の普及を、医師会、介護事業所などと連携して取り組んでいます。

事業の推進を求む！

くら はら ひ で き
倉 原 英 樹



問 旧第二中学校の利活用について

答 6月議会終了直後の庁議の中で、市長から旧第二中学校の利活用に向けたプロジェクトチームの設置についての訓示があり、立ち上げを指示されたところではありますが、庁内協議の体制整備が整っていない状況です。

問 なぜ、協議が進んでいないのか

答 これまで2回ほど庁内で協議を行い「旧第二中学校の施設などを、市公民館機能の移設、生涯スポーツでの利用促進、防災機能の設置など、幅広い視点での検討を行う」ことを申し合わせたところですが、中心となる担当課が定まらないままになっているのが大きな原因で、ひいては私（経営政策課長）の力不足によるものです。

問 市長の見解は

答 担当課長にそのような想いをさせてしま

い申し訳なく思っています。それは、当然市長である私の力不足だと捉えています。事業を前に進めるため、プロジェクトチームを設置し、市長である私を中心に協議を進めていきます。

問 地方創生について

10年間の取り組みの成果と今後について

答 「まち・ひと・しごと創生津久見市総合戦略」を策定し、様々な取組みを進めてきました。そのほかにも、「津久見市観光戦略」を策定し、現在も各種取組を推進しています。

今後も津久見市に住みたい、住み続けたいまちづくり、魅力的なまちづくりに、これまで以上に取り組んでいきます。さらに、津久見市に住んでいる市民に多様な幸せを感じてもらえるような施策の展開と取組が必要だと感じています。

業務に支障をきたさない体制整備を

の だ か ず ひ ろ
野 田 和 廣



問 消防署の消防力は足りているのか

答 非常に厳しい体制であると思っています。今後も適正な人員配置の継続に向けて、関係部局と協議していき

問 今後、消防力の低下を招かない体制をつくっていくということでしょうか

答 そのように考えています。39名体制を維持出来ればと考えています。

問 新入職員は、半年間消防学校に入校する。その間の消防力の強化を考え、1年前倒しで職員を増員し、翌年度に減員する採用方法は

答 消防本部と今後の有り方について協議していきたい。

問 社会福祉協議会の行政からみた位置付けは

答 津久見市の社会福祉政策の中核をなす、大変重要な機関と認識しています。

問 現在、社会福祉分野の人材不足はどのような状況か

答 非常に厳しい状況と考える。特に県南は人材がひっ迫しています。

問 地域福祉の継続、充実のためにも、人材確保と現職員が少しでも意欲が湧くような給与の運用の底上げができないか

答 各種団体の補助金は、それぞれのルールの下で決定をしており、ここでは個別の補助金の増額については答えられませんが、改めて担当課と協議していきたい。

※最後に、消防力については、課題は何なのか？どうするのがベターなのか？現場の生の声をじっくりと聞いてもらいたい。また、社会福祉協議会については、委託事業の有りかたや重複している会議など、改善していくことも必要で、それには、まず実態・実情を把握してもらうことをお願いしています。

津久見高校存続のための 寮整備と給食提供を！

まるき かずや
丸 木 一 哉



問 寮整備を、市としてどのように取り組んでいくのですか

答 津久見高校は、津久見市にとってなくてはならない存在です。津久見市の小学生・中学生にとって大切な進路選択先であり、津久見高校の存続は欠かすことはできません。

寮整備については、現在、民間の方の御支援により、硬式野球部の寮を提供していただいています。硬式野球部以外の生徒の寮の整備にあたっては、施設改修費用、寮運営に関する高校側の希望、寮運営のあり方、食事提供スタッフ、保護者組織の結成など、いくつかの課題が挙げられます。寮を整備することは、津久見高校の存続の危機を救う一つの手段であると思いますが、今後、財源の確保、費用対効果などの調査・研究をしていきたいと考えています。

問 給食の提供を、どのように進めようとしていますか

答 津久見市では、令和6年8月26日から、津久見市学校給食共同調理場1校拠点方式により、各小中学校への給食の配送を開始しました。この調理場の給食提供数は、約1000食です。令和6年9月1日現在、児童生徒823名、学校教職員121名、調理場職員27名、合計971食に加えて、不測の事態に備えるため、各学校の食缶には人数分よりやや多めに給食を準備しています。

このようなことから、津久見高校への給食の提供を早急にスタートさせることは難しいと考えます。

◆この他に「高齢者の交通事故防止」「休校・廃校の利活用」について質問しました。

実現できるか 選挙公約

たかの みきなり
高 野 幹 也



空き家対策について

問 空き家対策についての市長の考えは

答 空き家対策としての賃貸住宅整備については、空き地・空き家（空き店舗）を活用した居住環境整備や新規創業の促進を図っていくことや、民間活力による津波避難ビル機能を兼ね備えた賃貸住宅整備等を検討しており、これらの取組は、津久見市のまちづくりに欠かせないことと認識しています。

空き家の有効活用について、選挙の際や就任当初の会見等でも述べていた内容としては、駅周辺の空き家や商店街の空き店舗等を利用して、津久見高校の寮や賃貸物件として整備できないかということでした。就任後に各種法体系や制度の中身を精査していますが、行政として民間の物件に介入すること、一緒に何かをするというところが非常にハードル

が高いということを、実感として感じています。

また、民間の物件を市が改修することのハードルが高いのであれば、例えば、今眠っている公共の遊休資産を有効活用する方法はないか、という可能性も探してみたいと考えています。民間の投資にどのような可能性があるのかについても、改めて調査研究を行いたいと考えています。

◆その他、「健康増進」について質問しました。



多発する自然災害への取り組みは

いどがわ ゆきひろ
井戸川 幸弘



今年の夏は災害級の猛暑、南海トラフ地震臨時情報の発表、大型台風第10号の襲来と自然災害が相次ぎました。4月から防災危機管理室が発足しましたが市の対応は

問 猛暑の影響と市の取り組みについて

答 今年の夏は35度以上の猛暑日が大幅に増えており、熱中症の救急搬送人数も昨年の10人から今年は12人と増えましたが、中等症以上の患者は昨年の3人から今年は1人に減っています。市は熱中症対策のリーフレットの全戸配布や地区健康教室などで高齢者に対し熱中症講話を実施し、更に防災行政無線で熱中症警戒の周知放送を実施しました。今後も熱中症予防への効果的な対策に努めます。

問 南海トラフ地震臨時情報の発表について

答 南海トラフ地震臨時情報が発表された場合は事前の避難は伴いませんが、日頃からの地震への

備えの再確認や、地震発生時にすぐに避難ができる準備が必要で、市は防災行政無線などでその呼びかけを行いました。今後も同様の対策を迅速に行い、早め早めの避難行動につながるように努めます。

問 大型台風第10号の被害などについて

答 台風第10号は降り始めからの総雨量が520ミリを超えましたが、災害救助法の適応を受けるような大きな被害はなく、住宅被害が4件、道路関係の被害は冠水が20件、倒木や落石が9件、土砂の流出などが8件などでした。避難者数は市民会館、市役所大会議室、市公民館などに延べ132人でした。今後も早め早めの避難を呼びかけ、個別避難計画の作成推進などにより地域の中で支援を必要とする方が安全な避難ができるように努めます。

◆この他、「第2期津久見市観光戦略」などについて質問しました。



「議会報告会」を開催します！



9月定例会や、令和5年度の決算特別委員会などについて、議会の活動をご説明し、ご意見をうかがいたいと思います。多くの方のご参加をお待ちしております。

【日時・場所】 令和6年11月12日(火) 19:00～川内会館(川内区)
11月12日(火) 19:00～広浦集会所(千怒区)
11月13日(水) 10:00～保戸島集会所(保戸島区)
11月14日(木) 19:00～津久見市民会館

※どの会場でも参加できます。ご都合に合わせてお越しください。
※今回は上記4か所で実施しますが、今後も他の地区での実施を予定しています。

12月定例会のご案内(予定)

12月 2日(月) 開会
10日(火) 一般質問
11日(水) 一般質問
12日(木) 常任委員会

12月13日(金) 常任委員会
16日(月) 常任委員会(予備日)
20日(金) 採決・閉会

10月1日(火) 議員研修会

場所：津久見市役所議会委員会室

認知症サポーター養成講座「認知症を学び 地域で支えよう」

講師 津久見市地域包括支援センター社協

センター長 下村理絵さん

高齢化が進む津久見では、地域の中でも、「認知症」がとても身近な問題になっています。これまでも何度か受講していますが、改めてこの問題を振り返ってみました。

津久見市の高齢化率

47.4%

2024年
8月末現在

津久見市で、令和5年度介護申請し、
認知症の診断(Ⅱa以上)を受けている方は **743名**
介護保険申請者(1133名)の **約65%**



【講座のまとめ】 ※困ったときは、津久見市地域包括支援センター社協にご相談を！
TEL 0972-82-4124 (24時間365日相談受付)

- 認知症は、どんな病気で、どんな症状があるか。
- 当事者・家族の思い
認知症の人は困った人、ではなく、困っている人。
- 認知症の方に接する際、何を気を付けたらよいか。

家族だけでなく
地域みんなで
支えよう！



認知症の方への基本姿勢

様々な症状の認知症ですが、
接し方の中で、**共通して言えるポイント3つ**

※認知症の人への対応の心得
“**3つの「ない」**”

- ① 驚かせない
- ② 急がせない
- ③ 自尊心を傷つけない

具体的な対応の際の“7つのポイント”

- ① まずは見守る
- ② 余裕をもって対応する
- ③ 声を掛けるときは1人で
- ④ 後ろから声を掛けない
- ⑤ 相手に目線を合わせて優しい口調で
- ⑥ 穏やかに、はっきりした話し方で
- ⑦ 相手の話し方に耳を傾けて、
ゆっくり対応する

※日常の生活中でも、このポイントに注意して
接してください！

津久見市連合PTAとの意見交換会

9月6日に市民会館において、津久見市連合PTAの役員さんと意見交換を行いました。

堅徳、千怒、青江・保戸島、津久見の各小学校と津久見中学校の5つに分かれて、各グループごとに「子ども達を取り巻く環境について」など意見交換を行いました。

当日参加いただいた皆さん、ありがとうございました。

堅徳小学校グループでの主な意見

- 猛暑対策として冷水機が玄関付近の屋外にあった方が良くと思う。
- 通学路付近でイノシシ・シカ・タヌキなどの目撃例が多く、不安である。
- 児童の減少により複式学級になるのが心配。教員の増員はできないのか？

千怒小学校グループでの主な意見

- 通学路の千怒ローソン横にカーブミラーの設置をお願いしたい。また、歩道の植栽の伐採もお願いしたい。
- 市内の通学路には、まだまだ暗いところがあるので、街灯を設置してほしい。

青江・保戸島小学校グループでの主な意見

【青江小】

- 大雨でグラウンドが水浸しになるので対策を。また、土砂は早めの撤去を。
- 図書館のエアコンが壊れている。体育館（避難所）にエアコンを設置してほしい。

【保戸島小】

- 壊れた備品や書類が溜まっているので、片付けてほしい。
- 体育館にもAEDを設置してほしい。

津久見小学校グループでの主な意見

- 第一文具付近は台風のたびに冠水し、現在、ほこりまみれのところを、子ども達は通学している。どうにかならないのか？
- 給食費無償化はどうなっているのか？

津久見中学校グループでの主な意見

- 通学路の決まりがはっきりとしていない。(志手町車道付近)
- 今も旧二中の体育館を使っている。草刈りだけでもしてほしい。
- 南海トラフ地震への備えはできているのか。備蓄はどの程度あるのか？





〔 第61回 津久見扇子踊り大会 〕

8月24日
土曜日



【第 61 回津久見扇子踊り大会】が津久見駅前通りで開催され、津久見市議会も参加しました。17団体約460人がそれぞれ揃いの浴衣で参加し、大分県の無形民俗文化財にも指定されている華麗な舞『扇子踊り』と、リズム感あふれる『三勝^{さんかつ}』『津久見音頭』を披露し、市内外からご来場の方々に楽しんでいただきました。

〔 第77回 大分県民スポーツ大会 〕

9月8日
日曜日



【第 77 回大分県民スポーツ大会】陸上競技がレゾナックドーム大分で開催され、津久見市議会も2競技に出場しました。

- 議員・教委 4×100 リレー 第6位
監督：丸木 選手：高野・島田・井戸川・倉原・黒木
- 議員・教委 個人100m 選手：島田 第5位

多くのご声援ありがとうございました。

来年も津久見市の順位アップに貢献できるよう頑張っていきます。

市民ギャラリー

市美展入選作品

10月1日に津久見市美術展の表彰式がありました。市民のみなさんが、丹精込めて描いた数々の作品の中から、津久見市在住の方の作品2点を紹介します。



市議会議長賞
「私の菜園」
仲尾和子さん(上青江)

市議会議長賞「私の菜園」

受賞者インタビュー

20号の油絵の作品です。自宅前においてあるコンテナに植えたニガウリを描きました。私は車を運転しないので、身近なところにあるものをモチーフにして描くことが多いです。一度全体を描いておいて、あとでだんだんと自分の気持ちが出てくるうちに、修正をしながら描き上げました。そうすると、前に気づかなかったところが浮かんできて、塗り重ねていくうちに単純だったものが次第に満足いくものになっていきました。今は、1年おきにある朝地町のコンクールに出展したりして、自分のペースで描いています。

受賞者インタビュー

教育長賞「しっかりつかまって」

A2版の大きさに描いた色鉛筆画です。6年位前から、公民館の教室に通い始めて描くようになりました。1カ月に2回ほど通っているうちに、だんだんと描くことが楽しくなりました。動物のほかにも、静物画なども描きますが、孫たち3人と生活していることもあり、野球をしているところなどの人物画も描いています。塗り込むほどに光沢が出てくる色鉛筆画はなかなかおもしろく、これからも描き続けたいと思っています。



教育長賞
「しっかりつかまって」
岩崎カツエさん(立花町)

☆ つくみの宝

年に一度の熱い夏

保戸島の加茂神社夏季大祭である「保戸島夏祭り」が7月6日・7日に開催されました。保戸島夏祭りは、市の指定文化財にも指定されており、御神輿や御神楽、湯立て、餅まき等、様々な催しが行われます。今年も市内外から多くの方が来島し、大いに盛り上がりしました。その中でも一番の見どころは、おとな神輿が勢いよく海に飛び込む様です。そして、それに続き子ども神輿、獅子舞も海に入ります。子ども神輿は今年も、島内外の子どもたちが元気良く担いでくれました。

子ども神輿も、おとな神輿同様に加茂神社を出発し、2日に分けて保戸島の端から端までを練り歩き、そして海に入り、最後の力を振り絞りながら加茂神社に帰ってきます。担ぎ終わった後は、大人も子どもも達成感に満ち溢れた表情になっています。来年は子どもたちの頑張りに、今以上に注目して見て下さい。

